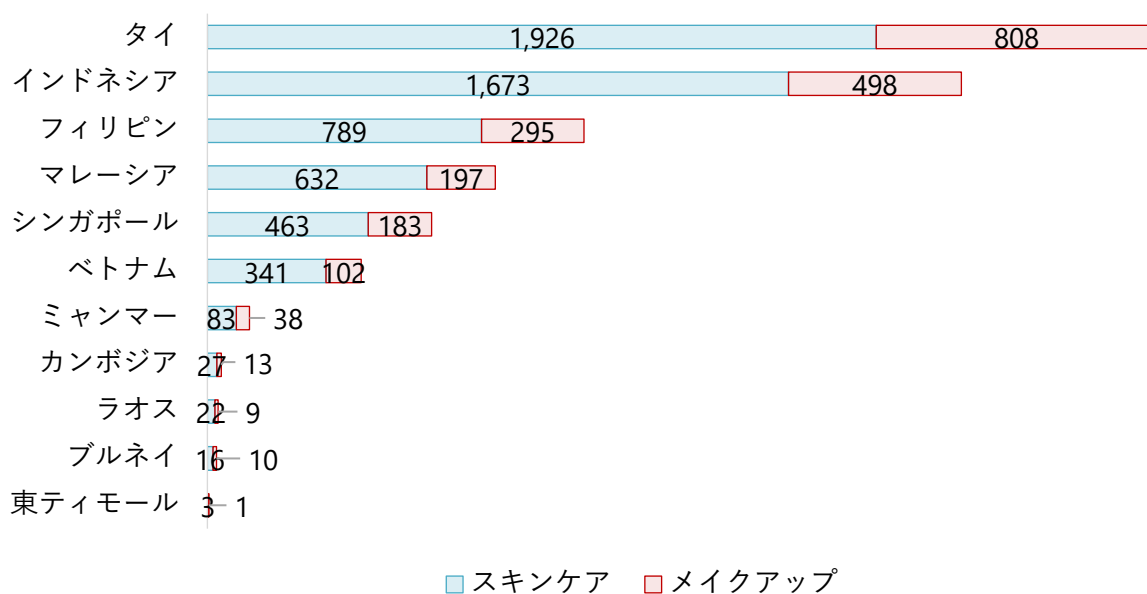


ベトナム化粧品市場、海外ブランドを中心として成長が続く

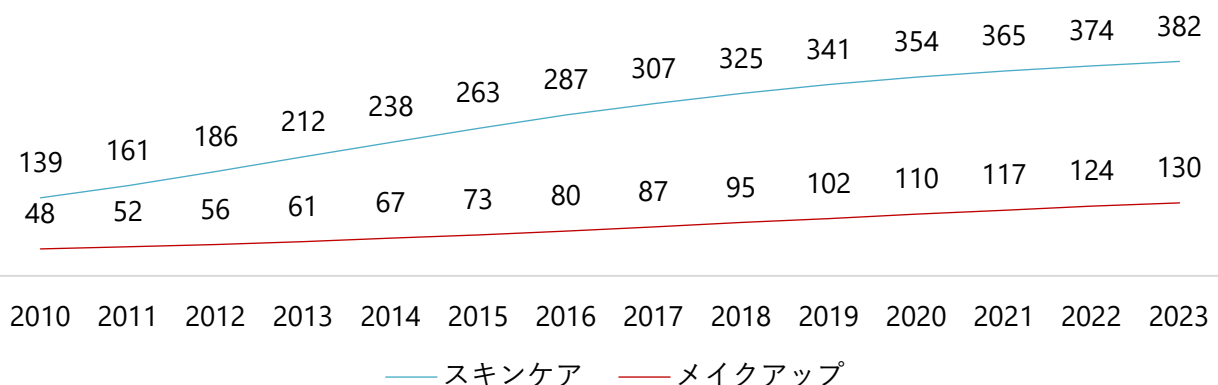
Statista 社のデータによると、ベトナムの化粧品市場規模は ASEAN 地域で第 6 位となる。2019 年の売上高はスキンケア用品で 3 億 4,100 万ドル、メイクアップ用品で 1 億 200 万ドルとなり、また、CAGR（年平均成長率）は 2023 年まで、各 2.9%、6.1%と予測されている。牽引要因は、急速な経済成長を背景とした中流層（1 日当たり 15 ドル以上の支出が可能な層）の増加にあり、世界銀行によれば、2026 年までに約 3,120 万人に達すると予測されており、化粧品市場は今後も成長が見込まれる。

国別化粧品売上高予測（2019 年：百万ドル）



資料：Statista

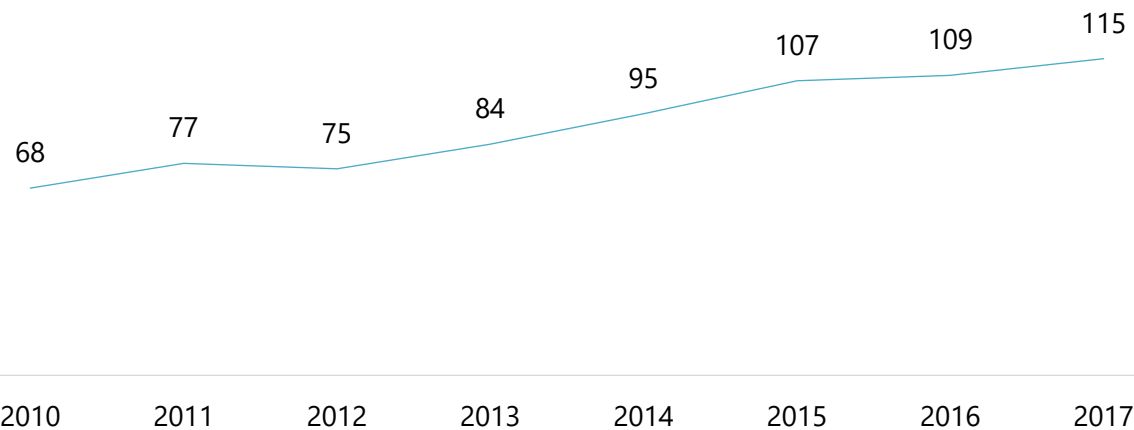
ベトナム化粧品売上高（百万ドル）



資料：Statista

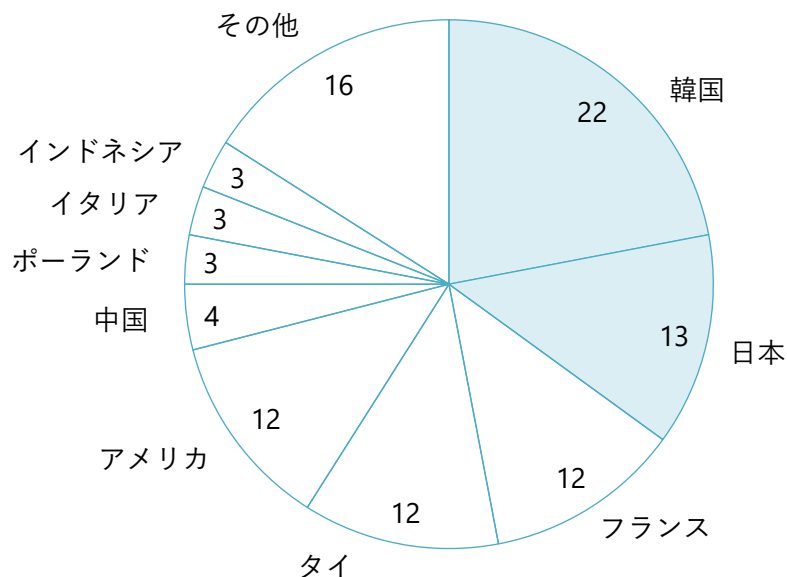
輸入も伸びており、競争が激しい。ベトナムでは海外ブランドが人気であり、輸入額は2010年の6,800万ドルから2017年は1億1,500万ドルに達した。国別で見ると2015年まではタイが長期に渡って30%前後を占め第1位であったが、他国が徐々にシェアを伸ばし、2017年は韓国（22%）、日本（13%）、フランス、タイ、アメリカ（各12%）がトップ5となった。

化粧品輸入額（HSコード3304：百万ドル）



資料：Statista

国別化粧品輸入額（2017年：100%=115百万ドル）

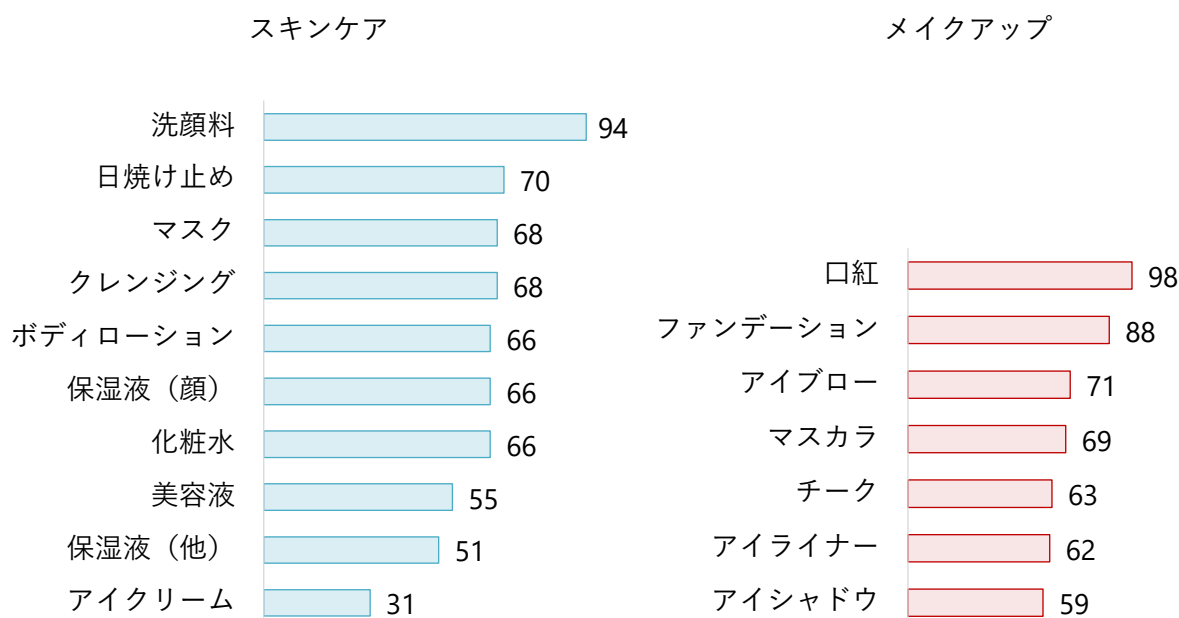


資料：Statista

化粧品の使用実態、トレンドはどうだろうか。2019年、B&Company社でオンライン調査を実施（対象：16歳以上の大都市、地方に住むベトナム人女性約300人）。最も使用されているスキンケア用品は

洗顔料（94%）、メイクアップ用品は口紅（98%）であった。一方、美容液、マスカラといった、その他の化粧品については、使用率は50～70%に留まっている。「口紅、洗顔料は持っているが、他はそれほど揃えていない」という女性が多いのが現在の状況となる。

ベトナム人女性によく使用されている化粧品（25歳未満109人、25～34歳174人、35歳以上49人）



資料：B&Company

最近注目されているトレンドの1つが、自然由来で抽出された成分を主に使い、添加物、化学薬品を抑えた天然化粧品である。スキンケア用品では、73.2%が天然化粧品を使用、7.8%が未使用、19.0%が不明と回答した（メイクアップ用品では66.6%が使用、9.6%が未使用、23.8%が不明）。天然化粧品について認知度、使用率共に高いことが分かる。

日本でもオーガニック化粧品が人気となり、新興メーカーが各種商品を製造しており、そのような企業の中には海外、ベトナムへと販路開拓を検討している企業も少なくない。確かにベトナム市場は伸びており、需要が伸びていく種類、トレンドを押さえれば、現地の流通業者が興味を持つ可能性はある。ただし、ベトナムでも既に大手グローバル企業がしのぎを削っており、成功を期待するならば「現地パートナーを見つけて任せるだけ」というわけにはいかないだろう。

参照：

1. <https://www.worldbank.org/en/country/vietnam/overview#1>
2. https://www.jetro.go.jp/ext_images/Reports/02/2017/775d117a65548838/rpvn201701.pdf

